

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [山形市立西小学校] 担当教諭名 [佐藤 瑠美] (4年1・2・3組 77名)

相手国・地域 [カナダ]

海外学校名 [Wyevale Central Public School] 担当教諭名 [Jim Carleton]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	「世界とつながろう」	14
	図画工作	「世界とつながろう」	8
	外国語活動	「自己紹介」	3

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	生きもの(伝統的な在来種)を通した環境問題
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	生きものにとって、住みやすい地球環境にしよう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・新学習指導要領でねらう「資質・能力」の育みを意識した取り組みをすることができた。	・時間を十分にかけることができず、質が十分に高まらなかった面がある。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
・国や地域が違って、同じ地球に暮らす仲間として、環境問題は大切であるという、共通の立ち位置に立つことができるようになったことが、振り返りの記述内容等からわかった。	・「資質・能力」の育みには、教科学習だけではなく、今回のようなプロジェクト学習を通して、教科横断的な取り組みが大切であるという意識が、以前に比べ、より高まった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分・学校・地域を紹介する。 ・相手の自己紹介を受け入れる。 	自己紹介ビデオ作りに意欲的だった。相手校ビデオに非常に興味を持った。	総合3 外国語3
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿って自分の国や地域のことを海外校に知らせる。 ・相手が教えてくれたことについて考え、お互いに伝え合って理解を深める。 	意欲的にテーマに関する材料を集めたり、まとめたりできた。	総合4
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの想いを合わせて世界に訴えるメッセージを作る。 ・メッセージを込めた壁画のデザインを考える。 	メッセージに想いをのせることに熱心に取り組んだ。メッセージがうまく伝わるようなデザインを考えることに意欲的だった。	総合4 図工2
創造 壁画制作	12月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンバスに下絵を描き、色を塗る。 ・描いている様子を海外校に伝える。 	絵の得意な児童を中心に、全員で熱心に取り組むことができた。	総合2 図工6
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・完成作品を展示・鑑賞する。 ・振り返りと評価を行う。 	完成作品を受けとって興奮した。丁寧に活動全体を振り返ることができた。	総合1

■アートマイルでつけた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本の絶滅危惧種について理解することができた。
異文化を理解する力	5	カナダの生きものについて理解することができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	日本の絶滅危惧種についてまとめる場面で力がついた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	英語を道具として使って、自己紹介を発信したり、受信したりすることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	生きものにとってのより良い環境という視点から、現在の生活を見つめることができた。
主体的に考え行動する力	4	よりよい地球環境のために、人間はどうすべきかについて、自分事として考え、行動する契機となった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	学級・学年・海外の友だちと協働して、なにかよいことを実感することができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	想いを伝えるのは、言葉に加えて、絵もあることを実感することができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	自分が今回の活動を通して、どのように成長できたか、資質・能力という点でどのように力がついたか、振り返ることができた。